

ス テ ー ジ ア ッ プ

主な記事

# Stage Up

- ・ゆっくり・みんなで・たのしみながら  
高津区市民健康の森を育てる会
- ・「夢売り人」植木昌昭さん
- ・財団情報「地域協働講座」
- ・2018年度前期地域協働講座
- ・生涯学習プラザのご案内《施設利用》

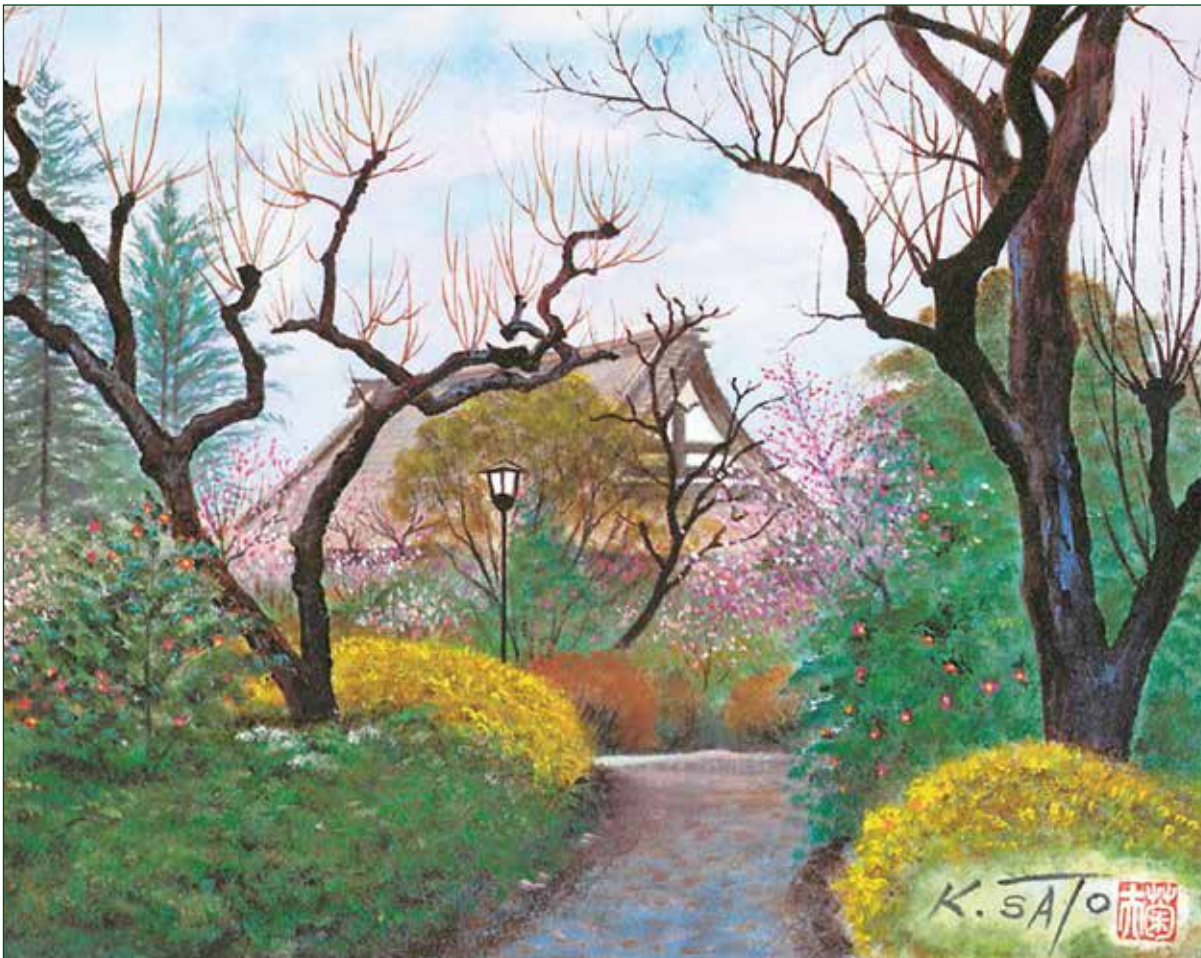
詳細・他記事等

◆ 施設めぐり

- ・宮前図書館
- ・伝統工芸館
- ・ふれあい館

◆ 情報ポケット

- ・2018年度第I期  
陶芸教室受講生募集
- ・メールマガジンに  
登録しませんか!
- ・お楽しみコーナー  
クイズに答えよう!



(2017.10.8撮影)  
インターネット川崎ガイドより

## <川崎百景> さとう菊夫シリーズ⑫ 岡上山 東光院 1975年 アクリル

町田と横浜に囲まれた川崎の飛び地「岡上(おかがみ)」にある東光院。『新編武蔵風土記稿』には、「開山開基は詳(つまび)らかにせずといえど、天正の頃(1573~1592)までに十一代に及ぶ」と記されている古刹であり、聖武天皇のときに行基が創建したという説もある。本堂に設置の木像「兜跋毘沙門天立像(とぼつびしゃもんてんりゅうぞう)」は、平安時代後期の作といわれ、一本の木から頭部と体部とを刻む一木造り。川崎市指定の重要文化財になっている。境内には、養蚕の神を祀る蚕影山(こかげさん)祠堂跡の碑があり、祠堂は、川崎市立日本民家園に移設されている。

【20数年~40数年前の川崎の四季、田園風景、名所、茅葺の民家、寺社仏閣等を描いてこられた“さとう菊夫さんの作品のシリーズ”は、今号で終了します。資料をご提供いただき感謝致します。】



発行・(公財)川崎市生涯学習財団

〒211-0064 川崎市中原区今井南町28番41号

TEL 044-733-5560(代) FAX 044-739-0085

http://www.kpal.or.jp/ E-mail:stage-up@kpal.or.jp



当財団は市民の主体的な学びと活動を支援するための諸事業を推進しています。

## ゆっくり・みんなで・たのしみながら 高津区市民健康の森を育てる会

### 高津区市民健康の森

11月9日(木)、高津区市民健康の森を育てる会(以降「同会」と略します)のみなさんは、花壇の草取りや花植え、ぶんぶんゴマ用の竹づくり、草刈等の定例作業をしていました。春日台公園では11時頃、近隣の保育園児たちが元気に遊んでいました。

高津区市民健康の森は、第三京浜と市民プラザ通りが交差する南東側に位置しており、ホテルの里(たちばなふれあいの森:森地区)と春日台公園(丘地区)からなりたっています。対象地はその地形の形状から「森」と「丘」に分けられ、「丘」の部分は都市公園「春日台公園」として、2007(H19)年に一般開放されました。



▲ 健康の森の所在地

### 行政及び他機関との連携と協働



▲ 宮寺副会長さん、徳武さん、吉田さん 会長は、作業が終わった後の昼食会をとっても楽しみにしています。作業活動の内容や報告はもちろんですが、情報交換の内容は多岐に渡っており、お互いの経験を聞き合える貴重な場となっているそうです。

同会には、区役所の職員も5人が会員として参加しており、同会の活動に協力しています。区の活動の中には、高津区市民健康の森を活用しているイベントが計画されており、同会は区役所の様々なイベントへ積極的に協力しています。

徳武さんや吉田さんは、会員の特長を生かした活動や作業を大切にしながら、行政とバランスのとれた補完関係を築くことを大切にしており、寛容さと懐の広さを感じることができました。

### 目的と活動

同会は、高津区市民健康の森構想検討委員会(平成12年1月～13年3月)を経て、「ゆっくり・みんなで・たのしみながら」を基本コンセプトに2002(平成14)年11月、正式発足しました。

里山環境の保全・育成と活用を図ることを目的に、①春日台公園やたちばなふれあいの森の管理運営②孟宗竹の間伐・竹炭焼き③主催イベントの運営・市内のイベント協力④社会貢献等の活動をしています。同会会員は各部会(ホテル・園農・炭・森・広報等)に所属して活動をすすめています。

毎週木曜日と第1・3日曜日の午前中(9:00～11:30)に定例作業を行っており、会員は65名です。(2017年11月現在)

### 積極的な情報発信と地域への貢献

同会が奇数月に発行している広報誌「森・丘つうしん」は、活動内容・イベント計画&報告・会



▲ 森・丘つうしん

員紹介等を写真入りで紹介しており、「7区の市民健康の森の連絡会」には「森・丘つうしん」を使って活動報告しています。また、同会のホームページは、イベントや作業活動の報告を頻繁に更新しており、年間を通した活動の様子を詳しく知ることができます。

昨年10月、地域の「橘小学校ふれあい祭り」に参加協力し、開場早々、ぶんぶんゴマは満席、その待ち時間に風車も満席、昼食時は廊下に列ができるほどで、昼休みも大盛況でした。



▲ 橘小学校ふれあい祭り

また、親子芋掘り体験には、募集30名のところ応募が120名あり抽選になるほど人気がありました。さつまいもは大収穫で、参加した親子は、焼き芋と豚汁を食べ、掘ったさつまいもをお土産に、大満足の日となりました。

毎年、竹炭を近隣の保育園や老人施設へ提供しています。消臭・除湿に使用し、古くなった竹炭は粉にして、施設内の樹木やプランターに撒いているとのことでした。

同会は、積極的な情報発信をしながら、地域の方々とのふれあいを大切に活動しています。

■ 問合せ 徳武道雄 TEL 090-9838-5852



## 「夢売り人」・植木昌昭さん

認定NPO法人あさお市民活動サポートセンター理事長

麻生区在住の植木昌昭さんは、昨年4月に開館10周年を迎えた麻生市民活動センターやまゆり(以降「やまゆり」と略します)に組織作りの段階から「新しい市民利用施設検討委員」として携わってきました。施設建設と運営組織(現在の認定NPO法人あさお市民活動サポートセンター・以降「サポセン」と略します)は計画段階から同時進行してきましたが、運営は全て区民のボランティアによるものでした。



▲ 植木昌昭さん

植木さんはサポセンの理事を開館当初から務め、この10年間やまゆりに携わってきました。やまゆりでの活動以外にも、川崎市市民活動推進委員会委員、市民記者(財団法人かわさき市民活動センター)、市民講師(川崎市男女共同参画センター)等を歴任し、現在、区民会議の委員長、退職者サークルの企画運営委員等、地域の様々な委員会活動で活躍しています。

現役時代の植木さんは、家には寝に帰るだけの、いわゆる川崎都民の生活をしていました。しかし、定年退職時に「これからは地域の情報紙には目を通してあげ」という先輩のアドバイスから、公募委員等に応募し、大好きな新百合ヶ丘の活動に参画することで、地域での飲み友達もできたそうです。

そんな仲間と議論しながらの、やまゆりの開館。「ボランティアをすることは自分の時間等も提供するが、それ以上に自分も成長できた」と話します。

### 多趣味で好奇心旺盛「夢とチャレンジ」

植木さんが活動できる原動力は夢とチャレンジです。現役時代に培った経験を生かし、義務ではなく自分も人も楽しみ、皆さんが喜ぶことをやりたいそうです。

やまゆりでは地域活動に参加することで、現役を引退した

シニアも生活に適度な緊張感や責任感を持つことができます。植木さんはこの10年間、シニアが地域活動に参加し、地域の人と知り合うチャンスやネットワークづくりの場所としてやまゆりを育ててきました。

生き生きとした高齢者が溢れる街を目指すためには、地域に相応しい活動を展開していくことが重要だと考えています。そのために「目指せ!アクティブシニア達のセミナー」を毎年開催しています。植木さんは、現在はシニアに限らず、元気な子育て世代の人たちや、何かを求めてやろうとしている若い人も応援しています。



▲ アクティブシニアセミナーの様子

そんな自分を「夢売り人」と話す植木さん自身も男の料理・秘湯巡り等好奇心旺盛で、新しくウクレレや日本舞踊に挑戦する等、多趣味です。毎年実施している「区民講師公開講座」の講師を中心に色々なサークルを立ちあげ、社会参加とプライベートとのバランスを大切にしている今は、若い頃よりも充実していて、今の自分の方が好きだと話します。

### オープンマインド・仲間との出会い

植木さんが生き生きとしている秘訣は「オープンマインド」でいることです。

「オープンマインドであれば、色々な人を受け入れることができ、様々な良い出会いはオープンマインド



▲ サークルの仲間と

でいるからだ」と話していました。「良い出会いこそが大切で、良い仲間巡りに巡り合えばよいことができる」と話す植木さんはやまゆり構想からの13年を振り返り、地域で素晴らしい友達ができ、仲間への感謝の気持ちを大切にしています。植木さんは「3人集まったら何でもできる」と言います。仲間と会話をすると色々な発想や夢が生まれてくるからです。だから、オープンマインドでいると、夢を実現させるためのアンテナを張ることができるのです。

やまゆりと共に10年歩み続けてきた植木さんは、今後はサポセンでの夢を後輩に託し、そろそろ自分個人の時間を楽しんでいきたいと考えています。もちろん、アクティブシニアであり続け、新しい仲間と出会えることも楽しみにしています。

■ 問合せ 認定NPO法人 あさお市民活動サポートセンター  
TEL 044-951-6321



▲ サポセン総会



▲ 市民講師@すくらむ21のチラシ



# 学んだ成果を地域へ還元 まちづくりに活かす「地域協働講座」

★地域協働講座は 2011(H23) 年度から当財団が NPO法人かわさき市民アカデミーと協働で、前期(4月～7月)・後期(9月～1月)の2学期制として開講しています。  
★2018(H30) 年度は、「健康・生活・福祉・企業連携・教育」等のコースを設け、企業・病院・近隣の関係機関や団体等と連携し、地域との密着性の高い講座を開講します。

## ◆地域協働講座とは

地域協働講座は、2011(H23)年からスタートしており、当財団のシニア活動支援事業に位置づけています。

この講座は、地域密着にこだわり地域課題の解決やボランティア活動で貢献する人材の育成等、学んだ成果を「地域へ還元・まちづくりに活かす」こと等をねらいに年間2学期制で約10講座、長期(10コマ)・短期(5コマ)で開講しています。

この講座の特徴は、認定NPO法人かわさき市民アカデミーと当財団で構成する「地域協働講座企画委員会」を開催し、熱心な討議を重ね、委員同士の問題意識と相互理解を深めながら協働で企画運営を推進しています。

スタート当初である2011(H23)年度の地域協働講座では、「福祉」「企業連携」「川崎のまちづくり」「活動支援」「子育て支援」の講座を開講しました。「福祉」コースの傾聴ボランティア養成講座を修了した方々の中には、高齢者福祉施設等でボランティア活動する方もいます。

「企業連携」の「地域社会に貢献している川崎の会社と人々」では一般に知られにくい企業の研究開発等を紹介しており、多様な業種の熱心な講師陣に講演していただいています。2018(H30)年度も、この2講座は開講します。

## ◆今までの講座を振り返ってみました

### ★2011～2018 年度

#### 「地域社会に貢献している川崎の会社と人々」

2010(H22)年のステップアップ講座を含め16学期連続開講しておりこれまで150の会社や個人の方々に登壇いただきました。川崎のモノづくり、先端技術、研究開発、まちづくり、マイスター等、幅広い分野のことが知ることができ、根強い人気がある講座となっています。



▲腹話術師の城谷護さん ▲かわさきマイスターの田中司好さん

### ★2012 年度「医療最前線」

日本医科大学武蔵小杉病院の協力による講座「からだに優しい治療が血管内・低侵襲治療です」では、カテーテル(医療用に用いられる中空の柔らかい管のこと)を持参しての説明がありました。



▲カテーテルの紹介

### ★2013～2014 年度「ひと味がう映画講座」

麻生区の日本映画大学の協力で「観るだけじゃない。映画の裏側がおもしろい！」をテーマに、様々な切り口で講義がありました。学校が所有する淀川長治さんの講義テープを聴き、独自の語り口、映画のワンシーンを一人で演じる熱演に、鳥肌が立ちました。とても贅沢で稀少な講義となりました。



▲映像を使つての講義

### ★2015 年度「プロから学ぶ人形劇」



▲人形の演技指導

人形劇団ひとみ座の指導で、人形作りから実演までの過程を学びました。わくわくプラザや身障者施設の職員、ホームヘルパーの方、地域でボランティア活動をしている方たちが、人形をコミュニケーションツールとして使おうと、意欲的に受講していました。

### ★2016 年度

#### 「かわさきそだち」を楽しもう

市内の農地を巡り、花卉(かき)農家からクリスマスリース等の作り方や、女性農業者団体の方からは料理講習等を学びました。

黒川観光農園では、落花生掘りをする貴重な経験をすることもできました。



▲落花生掘り

### ★2016～2017 年度「スポーツ医学の意義と実践」



▲健康ウォーキング

聖マリアンナ医科大学スポーツ医学講座の協力をいただき開講しています。前半は医学的な視点から筋肉・骨・栄養・スポーツの効用等の講義、後半はエクササイズとしてストレッチ・筋トレ・ウォーキング等を行い、講義と実技の2本立てで講座を行いました。

### ★2017 年度「認知症の理解を深めるー脳を活性化して生き活きと」

認知症を正しく理解し、予防のために開発されたお絵かき、体操、楽器等を楽しみながら体験し、予防に効果的な食事についても学びました。



▲ブネ楽器の体験

## ◆傾聴ボランティア養成講座の先生のお話

「傾聴ボランティア養成講座」は、2018(H30)年度前期も開講を予定しています。開講当初より講師を務めてくださっているNPO法人ホールファミリーケア協会事務局長の山田豊吉さんに「傾聴ボランティア講座」への想いについて、お尋ねしました。

### 「傾聴ボランティア」Q&A

- Q. 傾聴ボランティア講座の中で、受講者へ「一番伝えたい想い」はなんですか？
- A. お互い、大事なこの時を生きている者同士として、向かい合うことが大切ではないか、ということです。
- Q. 傾聴ボランティアの難しいところ(留意したいこと)はなんですか？
- A. 相手を否定しないで、受けとめていただけるといいな、と思います。何故なら、自分が大切な存在だとしたら、相手も同じように大切な存在といった基本的な人間観を持ち合わせていることが、受容するといったことの根幹だからです。
- Q. 傾聴ボランティア講座の講師をしていて、よかったことはなんですか？
- A. 相手に喜んでもらえたと、傾聴ボランティアの皆さんから聴いたときです。あるいは、家族から、お父さんとお母さん、変わったわね(優しくなったね)と言われるようになった、といったことを聴いたときです。
- Q. 高齢者への関わりで大切にしていることはなんですか？
- A. それぞれ、その人なりに、頑張って生きてきた人であるとの思いで向かい合うことです。高齢者＝弱者というようなことはまったくありません。そのように思う人は、自分は歳を取らないと思っている人だと思います。
- Q. 結びに一言、お願いします。
- A. 一人でも多くの方が「傾聴」のことを学んで、お互いを大切にしながら生きることの心地よさを感じていただけたらな、と願います。

本誌8頁に2018(H30)年度前期「地域協働講座」の案内を掲載していますので、併せてご覧ください。

# 施設めぐり

## 市内公的施設の紹介

宮前区

### 宮前図書館

東急田園都市線宮前平駅下車徒歩10分  
TEL 044-888-3918

#### 川崎市自動車文庫 「たちばな号」の拠点

宮前文化センター内にある宮前図書館は2週間に一度、図書館から離れている方のために市内21ヶ所のポイントを巡回する移動図書館「たちばな号」の拠点



▲ たちばな号 ▼ 車内



です。予約をすれば、読みたい本をたちばな号に乗せて各区のポイントにきてくれます。

#### 地域の資源を地域に発信

館内には地域団体と連携し、期間限定で地域の様々な情報と、それに関連する図書のコナーを設けています。最近は、民家園、さぎぬま商店会との連携や、昨年、文

▲ 特設コナー



化勲章を受章した藤嶋昭氏と光触媒ミュージアム(高津区)等の情報提供コナーを作りました。



#### 認知症サポーターがいます

カウンターでの利用者との関わりを通して高齢化社会への対応に必要性を感じ、地域に寄り添う取組みの一つとして、「認知症の人にやさしい小さな本棚」を2015(H27)年から設置しました。認知症対応の講座を受講した職員は、認知症サポーターの目印としてオレンジリングを付けています。

▲ 「小さな本棚」とオレンジリング

◆開館時間 平日9:30~19:00 土・日・祝9:30~17:00

◆休館日 毎月第3月曜日(祝日の場合は直後の平日)年末年始他

多摩区

### 伝統工芸館

小田急線向ヶ丘遊園駅下車徒歩20分、または、同駅下車北口  
小田急バス専修大学前行き終点から徒歩5分 TEL 044-900-1101

日本民家園の「西門」も兼ねている伝統工芸館は、日本古来の伝統工芸である天然藍による染色技術を市民へ身近に親しんでもらうために、1983(S58)年に開館しました。ここでは、藍染めの指導や講座開催、ミニ展示等を行っています。



▲ 伝統工芸館外観

また、藍染めを体験し手作りの良さを楽しむことができます。

#### 藍染め体験をしませんか!

工芸館では初心者の方も事前準備なしで気軽に楽しめるハンカチ染めの体験と、お好きな布を持ちこんで染められる持ち込み染色ができます。



▲ 伝統工芸館の内部

ハンカチ染めの体験は1時間~1時間30分が目安。体験は、いずれの場合も事前のご予約がお勧めです。



藍染めTシャツ▶

藍染め体験 ①模様づけ→②染色→③空気にさらし酸化→②③を繰り返す→④洗う→⑤脱水

- ◆入館料 無料(日本民家園は、入園料が必要です)
- ◆開館時間 9:30~17:00(11月~2月は、~16:30まで)  
最終入館時間は、閉館の30分前(体験の受付時間  
①10:00~ ②13:00~ ③14:30~ の3回制)
- ◆休館日 月曜日(祝日の場合は開館)、祝日の翌日(土・日・祝日の場合は開館)
- ◆藍染料金 ハンカチ染め620円、バンダナ染め820円等

川崎区

### 川崎市ふれあい館

JR川崎駅より市バス「大島四ツ角」、臨港バス「四ツ角」下車徒歩3分  
TEL 044-276-4800



▲ ふれあい館

#### 違いを豊かさに ~多文化共生・交流

川崎市ふれあい館は、基本的な人権尊重の精神に基づき、行政による国内初の差別のない多文化共生を目指す施設として、1988(S63)年に川崎市が設置しました。子どもも大人も、外国人も障がい者も、みんなが相互にふれあい、力いっぱい生きることができるように、人権課題や地域課題に取り組んでいます。

資料室には、人権、在日の韓国・朝鮮の人々の歴史等に関する貴重な書籍や資料が1万冊揃っています。

#### 外国につながる市民へのサポート

ふれあい館の識字学級は川崎市で最初にできた日本語学級です。学習者も指導者も共に学ぶ共同学習者です。情報が届かない市民が社会と繋がるように、難しい公的手続きや防災対応等、言葉以外に生活面のサポートをしています。

#### 事業のご紹介(一部)

多文化を大切にして心を育む、各種講座・交流を行っています。



▲ チャンゴ

◆チャンゴクラブ 韓国・朝鮮の太鼓を演奏します。地域開催の「日本のまつり」で「桜本ブンムルノリ」を披露します。



▲ 桜本ブンムルノリ

◆キッズスペースろば 外国人の保護者の方も安心して利用できる親子の憩いの場です。予約不要。

◆クッキングおふくろ 川崎市地域女性連絡協議会の協力で、日本の伝統料理を作ります。若いお母さんに好評です。2月下旬開催(ひな祭り料理を作る)予定です。



▲ クッキングおふくろ

- ◆開館時間 月~土9:30~21:00 日・祝9:30~18:00
- ◆休館日 年末・年始のみ

※219号(2017.12.1発行)P6高津図書館の開館時間(土・日・祝 9:30~(㊟)17:30→(㊟)17:00)訂正してお詫び致します。

2018年度 第I期 陶芸教室 受講生募集

《捏(こ)ねる→成形→削る→釉掛(ゆか)け(全12回)》  
手づくりの器の味わいを日々の生活に



- ◆水曜コース 4月4日～7月4日  
手びねり 9:30～12:30 電動ろくろ 13:30～16:30
- ◆土曜コース 4月7日～7月14日  
手びねり 9:30～12:30 電動ろくろ 13:30～16:30

会場 川崎市生涯学習プラザ 地下実習室  
対象 18歳以上の方 **電動ろくろコースは手びねり経験の有る人**  
定員 手びねりコース各15名、電動ろくろコース各11名  
内容 土(菊)練り、成形、削り、絵付け、釉薬かけ 等  
費用 手びねりコース 33,000円・電動ろくろコース 39,000円  
(共に材料費、焼成料・釉薬代込み)

申込方法 はがきに、いずれかの希望コースを明記して、  
**水曜手びねり、土曜手びねり、水曜電動ろくろ、土曜電動ろくろ**  
住所・氏名(ふりがな)・電話番号を記入の上、担当へお申し込みください。

**締切日 2018年3月5日(月)必着**

※応募者多数の場合は抽選(初心者優先)結果を3月10日(土)までにお知らせします。

問合せ先・担当 (公財)川崎市生涯学習財団事業推進室 陶芸教室担当 渡辺  
〒211-0064 川崎市中原区今井南町 28-41

TEL:044-733-5893 FAX:044-733-6697 E-mail suisin6@kpal.or.jp



メールマガジンに  
登録しませんか!

川崎市生涯学習財団は、KSJ Mail News (メールマガジン)を発行しています。当財団主催の講座やイベントの最新情報、生涯学習プラザの施設予約案内等、皆様のお役に立つ情報をお届けします。

※KSJ(Kawasaki Shougaigakusyū Jyōshū)  
「かわさきの生涯学習情報」の頭文字をとったものです。

【配信】概ね月1回 (不定期)  
【費用】無料  
【申込】当財団のホームページからお申込みください。または、申込書にご記入の上、プラザ窓口にお渡しください。お待ちしております。

□□□  
<かわさきの生涯学習情報>  
KSJ Mail News Vol. 049 (2017/12 発行)  
(公財)川崎市生涯学習財団  
<http://www.kpal.or.jp>  
□□□  
『違いが豊かさとして響き合う社会をめざして』  
「違いが豊かとして響き合う」。  
~~~~~

かわさきの生涯学習情報 検索

■問合せ (公財)川崎市生涯学習財団  
総務室企画情報係 メールマガジン担当  
TEL 044-733-5811 E-mail m-maga@kpal.or.jp

◆お楽しみコーナー  
クイズに答えよう!



当財団が配信しているメールマガジンの名前はなんでしょうか。

下の○にあてはまる言葉を入れてください。

『○○○ Mail News』

【応募方法】

- ①答え ②〒・住所 ③氏名 ④Stage Upの入手場所
- ⑤今号の誌面でよかった記事(理由)を書いて、はがき、FAX、Eメールで担当宛、応募してください。

※締切 2018年2月28日(水)必着  
※正解 ホームページ及び次号に掲載  
※正解者3名に500円の図書カードを贈呈  
(発表は発送に代えさせていただきます)  
〒211-0064 中原区今井南町 28-41



川崎市生涯学習財団 Stage Up (ステージアップ) 担当  
E-mail: stage-up@kpal.or.jp  
TEL 044-733-5811 FAX 044-739-0085  
※個人情報、発送業務以外の目的では使用しません。

☆219号のクイズの答え・・・ロビー

2018年度 前期  
かわさき市民アカデミー

# 地域協働講座 受講生募集!

聖マリアンナ医科大学教授 田中 逸 ほか

## 『健康寿命』を伸ばす最新医学 — 人生の最後まで 健やかに過ごそう!

日本人の平均寿命は歴代最高の世界第2位を更新しました。一方で、健康上の問題がなく、生活できる期間を意味する『健康寿命』と平均寿命には未だに隔たりがあります。医学の分野はこの差を縮め、『健康寿命』も伸ばすべく日夜研究が進んでいます。本講座では老化を防止する最新医学や栄養学、また、細胞レベルの老化の成り立ちから疾患との関連等を学びます。

6月5日(火)～7月3日(火)  
14:00～15:30 計5回  
受講料4,110円 定員70名

市内企業の代表と研究者 ほか

## 『地域社会に貢献している 川崎の会社と人々 その16』

川崎は京浜工業地帯の中核都市として、日本経済を牽引してきました。また、モノづくり企業、先端技術の開発・研究機関を多く抱える元気な都市です。川崎を中心とした企業・団体・個人の方々から先端技術、モノづくり、環境、まちづくり、福祉等を学び、明るい未来を展望します。

4月12日(木)～7月12日(木)  
13:30～15:00 計10回  
受講料8,220円 定員70名

東京大学高齢社会総合研究機構特任教授  
辻 哲夫 ほか

## 『新たなセカンドライフの創造 その2』

高齢期におけるセカンドライフの創造に向けて、自分らしい生き方を通して生涯現役を貫き、地域の課題解決に貢献できる活動・働き～生きがい就労～をする上で役に立つ具体的な事例が学べる講座です。

5月17日(木)～6月21日(木)  
10:00～11:30 計5回  
受講料4,110円 定員50名

英国認定カウンセラー 前田 節子 ほか

## 『やれるだけやろう、 思春期の子育て』

2017年度後期講座「後悔しない、6歳からの子育て」の続編になります。この生きづらいつい時代に疲弊していく子どもたち。思春期の頃の子どもに、どのように向き合っていけばよいか。親として最低限できることは何でしょうか。

5月11日(金)～7月13日(金)  
10:00～12:00 計5回  
受講料4,860円 定員70名

NPO法人ホールファミリーケア協会  
山田 豊吉 事務局長

## 『傾聴ボランティア講座』

傾聴とは、相手の話に耳を傾け、一生懸命、あるいは熱心に聴くことです。また、相手の話を一生懸命、あるいは熱心に聴くためには、相手の存在を認めるといった基本的な人への向かい合い方(態度)も必要になってきます。相手の話を否定しないで、どんなふうに聴けるか、練習をします。傾聴は、人間関係の基本です。

5月9日(水)～6月13日(水)  
13:00～17:00 計10回  
(1回2時間、1日に2回連続して実施)  
受講料9,720円 定員40名

会場：川崎市生涯学習プラザ 他  
申込み：詳細を掲載の「かわさき市民アカデミー講座のご案内」パンフレットの受講申込書をご利用下さい。  
(生涯学習プラザや各施設にあります)

ホームページからも申込みができます。<http://npoademy.jp/> 申込み締切 2月20日(火)  
問合せ：かわさき市民アカデミー TEL 044-733-5590(平日9:00～16:00)

## 生涯学習プラザのご案内《施設利用》どなたでもご利用可能です

★ 会議・研修等で利用できます。【土・日・祝日は2割増】 (税込、単位円)

| 室名       | 利用人数 | 利用内容        | 利用料金              |                    |                    |                   |        |
|----------|------|-------------|-------------------|--------------------|--------------------|-------------------|--------|
|          |      |             | 午前/9:00<br>～12:00 | 午後/13:00<br>～17:00 | 夜間/17:30<br>～21:00 | 全日/9:00<br>～21:00 |        |
| 大会議室 401 | 144名 | 講演会・イベント・研修 | 6,170             | 7,200              | 8,220              | 21,590            |        |
| 会議室      | 303  | 24名         | 会議・研修(パソコン貸出可能)   | 2,090              | 2,760              | 3,500             | 8,350  |
|          | 301  | 72名         | 会議・研修・ミーティング      | 3,080              | 4,110              | 5,140             | 12,330 |
|          | 201  | 72名         |                   | 3,080              | 4,110              | 5,140             | 12,330 |
|          | 202  | 32名         |                   | 2,570              | 3,600              | 4,620             | 10,790 |
| 活動室 101  | 16名  | 研修・体操等      | 1,540             | 2,050              | 2,570              | 6,160             |        |

かわさき Wi-Fi  
利用できるよう  
になりました!

1階すべての部屋・2階ロビーおよび203活動室等で「かわさきWi-Fi」(無料)が利用いただけます。(2017年10月より)



▲202 会議室



▲302 多目的ルーム



▲303 会議室(PC可)

★ ヨガ・ダンス・太極拳等運動系で利用できます。【土・日・祝日は2割増】 (税込、単位円)

| 室名            | 利用人数        | 利用内容            | 9:00                          | 11:00  | 13:00  | 15:00  | 17:00  | 19:00  |
|---------------|-------------|-----------------|-------------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
|               |             |                 | ～11:00                        | ～13:00 | ～15:00 | ～17:00 | ～19:00 | ～21:00 |
| フィットネスルーム 402 | 50名<br>180㎡ | 卓球・ダンス・各種体操等    | 1コマ(2時間) 3,600<br>(全日 18,000) |        |        |        |        |        |
| 多目的ルーム 302    | 50名<br>124㎡ | ダンス・合唱<br>各種体操等 | 1コマ(2時間) 2,570<br>(全日 12,850) |        |        |        |        |        |
| 活動室 203       | 50名<br>120㎡ | ヨガ・軽体操等         |                               |        |        |        |        |        |

※詳しくはホームページでご確認または、電話でお問い合わせください。営利でも利用いただけます。事前登録も不要です。TEL 044(733)5560